

## コースの概要 (2022年度)

- 期 間 2022年11月18日(金)午後、19日(土)、20日(日)、  
26日(土)、27日(日)
- 会 場 オンラインもしくは一橋大学 千代田キャンパス  
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)
- 定 員 25人
- 受講料 15万円/人  
※受講料にはテキスト代等を含みます。  
※地方自治体職員(病院勤務者を除く)および大学院生(社会人学生を除く)  
の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円/人といたします。
- 受講申込み 2022年6月受講申込み受付開始予定(WEB申し込み)  
<https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/>
- 実施者 一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等  
研究院 医療政策・経済研究センター(HIAS Health)



## コースの特徴

### EBPM(科学的な根拠に基づいた政策立案)

HIAS Healthにおける最先端の研究成果を取り入れ、社会科学の知見を医療の政策立案・実務の現場に反映させることを目指しています。

### 実務的な統計手法の習得

医療経済分析における統計の手法について、講義とエクセル等統計ソフトを用いた演習を通じて学びます。

### 座学とグループワークを合わせたアクティブ・ラーニング

講義のテーマの中から事前に受講生に希望調査をし、関心に応じて、5名程度のグループを編成し、グループワークを行います。

### 受講生間の交流

自治体・医療関係者等、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築を促し、政策立案と現場の連携に繋がります。



●お問い合わせ先  
一橋大学社会科学高等研究院  
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)  
〒186-8601 東京都国立市中2-1  
URL <https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>  
E-mail [hias-info@ad.hit-u.ac.jp](mailto:hias-info@ad.hit-u.ac.jp)



社会連携プログラム

第5回

# 医療経済 短期集中コース

—EBPMで考える医療経済—



一橋大学  
大学院経済学研究科  
一橋大学社会科学高等研究院  
医療政策・経済研究センター

# 医療経済短期集中コースについて

医療・介護に関わる専門職の方々がEBPMの考え方を理解することが、これまでに増して重要となる中、一橋大学では、社会人を対象とした高度職業人専門プログラム(リカレント教育プログラム)である「HIAS Health社会連携プログラム医療経済短期集中コース」を、2018年度より開講しました。

コースでは、データに基づいた医療・介護に関わる政策・経営の実態把握と分析や効率化に向けた手法等を、データ分析の初心者にも分かりやすく講義します。また、演習・グループワークなどのアクティブ・ラーニングを組み込み、内容への理解を深めるとともに、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築の促進が図られます。是非、医療・介護の現場で仕事をされている方、政策立案に携わる方、製薬企業、大学関係者など医療経済に関心のある方に、広く受講していただければと願っております。



佐藤 主光 Motohiro SATO

一橋大学社会科学高等研究院  
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)  
センター長  
一橋大学大学院経済学研究科 教授  
一橋大学国際・公共政策大学院 教授

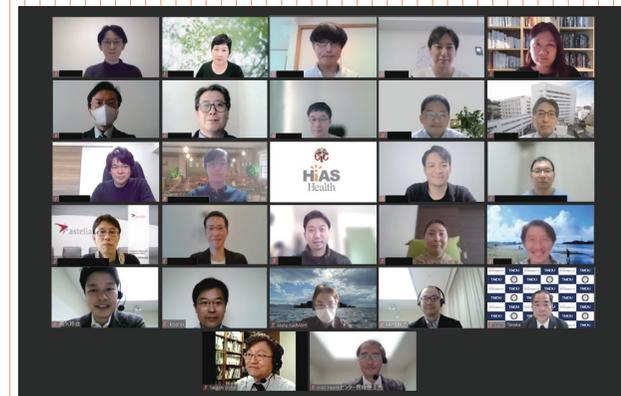
# コースの内容 (例:2021年度の時間割から)

2022年度の時間割は6月にHPで公開予定

- コースで使われる統計学の基本  
[講師] 中村 良太 一橋大学社会科学高等研究院 准教授/HIAS Health 研究員
- 医療保健政策の政策評価 講義と演習  
[講師] 高久 玲音 一橋大学大学院 経済学研究科 准教授/HIAS Health 研究員
- 医療機関の管理会計 講義と演習  
[講師] 荒井 耕 一橋大学大学院経営管理研究科 教授/HIAS Health 研究員
- 医療政策の時事報告 医療ビッグデータをどう医療政策に活かすか  
～新型コロナウイルスが病院経営に与えた影響から～  
[講師] 渡辺幸子 株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン 代表取締役社長
- 費用効果分析 講義と演習  
[講師] 五十嵐 中 横浜市立大学医学群 健康社会医学ユニット 准教授/  
東京大学大学院 薬学系研究科 客員准教授/HIAS Health 客員研究員
- コロナ禍が明らかにした我が国の医療のガラパゴス化  
～東京医科歯科大学の経験から～ 講演  
[講師] 田中雄二郎 東京医科歯科大学 学長
- 診療報酬・薬価はどうやって決まるのか～制度と課題～ 講演  
[講師] 小塩隆士 一橋大学経済研究所 教授/HIAS Health 研究員
- 健康行動 講義  
[講師] 中村良太 一橋大学社会科学高等研究院 准教授/HIAS Health 研究員
- 実践現場からの報告 東京都地域医療構想の実現に向けて  
[講師] 奈倉史子 東京都福祉保健局 医療政策部 計画推進担当課長
- 実践現場からの報告 総合診療の意義とポスト・コロナの  
かかりつけ医のあるべき姿  
[講師] 南郷栄秀 社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科
- グループワーク ■ グループワーク報告会 ■ パネルディスカッション

# 受講生の声

- 医療機関における管理会計は、公益性が高いため馴染まない・難しいものと思っておりましたが、営利企業さながらに取組まれ、その全体像や課題等を学ぶことができ、大変参考になりました。
- 医療計画の中で、コロナ禍での医療体制において、どの点がシステム上の短所であったのか、データを見る事で、非常に理解しやすく、かつ今までの認識の違いがわかり、大変有用であった。データ分析により、ものの理解への重要性が理解が出来たものと考えています。
- 医療現場で働き、日頃から費用対効果は診療報酬で馴染んでいる状況ですが、改めて聞き、考える事で「医療の価値」や「公平性」が考えさせられた。国民皆保険の意味による認識が少しずつ、人により違いがあるのは、「生きる」事への意味や認識の違いであり、質的評価の難しさを感じます。この中で今回講義受講は大変有用であったと感じます。経済という切り口で新しい知見を得られたことは有用であったと考えます。
- いろいろな目的があり、混在する中で政策がこじられている事に理解が深まった。人々の動機意識やその意味理解から政策が構築されている。生活の中で、習慣化されて行動が多い中で、一般的に理解することで、医療治療にも参考になります。どう健康について、行動させ、支援するのかを考える参考になりました。ありがとうございました。
- インプットのための研修ではなく、学んだことをアウトプットできる場があるとより学びが深まると実感できました。グループワークの時間もバックグラウンドが異なるメンバーとの意見交換は、発想・思考も異なることがあり、気付きも多くとても有意義でした。



2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンライン形式での開催となりました。